

万能型LDドライバ (APC) OS-WKNC/HL

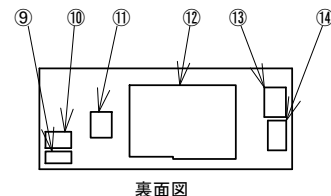
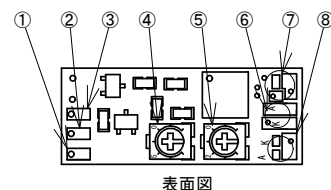
1. 性能

- ・ 単一電源 3.6 ~ 15 V 供給で CW / 300 mA まで駆動可能な APC 駆動専用ドライバです。
- ・ 出力安定度 0.3% 以内 (25°C 環境) の高性能です。
- ・ 立ち上がり時間 70 μ s 以内、立ち下がり時間 100 μ s 以内、DC ~ 数千 Hz までの変調が可能です。
- ・ TTL 正論理又は負論理の選択が可能です。
- ・ 基板上の 2 つのポテンションメータを調整することにより、LD 絶対出力及び通常出力設定が任意に行えます。
- ・ 温度異常や過電流 (LD が死んだりフィードバックパスがなかったりした場合など) には自動的にシャットダウンします。
- ・ 電極パッドの選択ショートにより全ての LD (アノードコモン、カソードコモン) タイプに適用可能です。
- ・ 駆動電流 100 mA 以上で使用する場合は、基板裏面にヒートシンクを付けて下さい。
- ・ LD が発熱すると過電流が流れシャットダウンする可能性があります。
- ・ 外形寸法は 8.4 × 21 × 2.6 mm と非常に小型です。

3. 各部の機能と LD 及び電源の接続

TTL 正論理適用の場合 (表面)

- ① パワーサプライ電極: +DC 3.6 ~ 15 V (推奨値 5 V) を接続する。
- ② パワーサプライ電極: GND を接続する。
- ③ TTL 入力電極: 正論理 (H でオン) 信号入力線を接続する。
- ④ ポテンションメータ 1: LD 出力調整用 VR、時計方向回転で出力増加。
- ⑤ ポテンションメータ 2: LD 出力リミット設定用 VR、時計方向回転で出力増加。
- ⑥ LD コモン電極の接続: アノードコモンの場合は孔なしパッドに接続し、カソードコモンの場合は孔有りの電極パッドに接続する。
- ⑦ LD ホット電極パッドショートを選択: アノードコモンの場合は孔有り電極パッドとショートさせ、カソードコモンの場合は孔なしパッド (エッジ側) とショートさせる。
- ⑧ PD ホットの出力極性が (-) の場合は K 側とショートさせ、(+) の場合は A 側パッドとショートさせる。



TTL 負論理適用の場合 (裏面)

- ⑨ パワーサプライ電極 (+V): DC 3.5 ~ 15 V を接続する。
- ⑩ TTL 入力電極: 負論理信号入力線を接続する。
- ⑪ パワーサプライ GND を接続する
- ⑫ ヒートシンク
- ⑬ PD ホット電極脚を接続する。
- ⑭ LD ホット電極脚を接続する。

4. LD 出力絶対定格及び所定の出力の設定

- 1) LD 出力をパワーメータでモニタしながら行う。
- 2) LD を駆動させる前にポテンションメータ④及び⑤を反時計方向に回しきっておく。
- 3) ポテンションメータ④のみを時計方向に回し LD の絶対最大出力の 80% 程度になる位置で固定する。
- 4) ポテンションメータ④のみを時計方向に回しきっても絶対定格値を越えない場合、次にポテンションメータ⑤を徐々に時計方向に回し、LD の絶対最大出力の 80% 程度になる位置で固定する。
- 5) 次にポテンションメータ④を反時計方向に回して LD 出力下げ、所定の出力に設定する。

注記・パワーサプライおよび TTL 入力 は表面又は裏面のどちらかのみを使用して下さい。

- ・ LD は容易に静電気破壊します。必ず十分な静電対策を講じた環境で配線作業を行って下さい。
- ・ 青色 LD 用などカソードコモンタイプ専用ドライバは別途 OS-WKMC が上梓されています。

以上